

美郷町商工会 アクションプログラム

戦略・施策の体系表

戦略		施策	
共通 戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進	施策 1	中核企業への成長を支える戦略的支援の推進
		施策 2	美郷町基盤強化に向けた企業の持続的発展支援の推進
共通 戦略 2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進	施策 3	事業者間連携「美郷モデル」による新たな取組の創出
		施策 4	地域課題解決に向けた地域内連携の強化
共通 戦略 3	成果を創出し続ける組織・運営体制の構築	施策 5	多様化・高度化する経営課題への支援機能強化
		施策 6	商工会運営力向上による組織強化
独自 戦略 1	主要産業である農業との組織的な連携の推進	施策 7	農業者の事業化・商業化に向けた支援の推進
		施策 8	J A との連携による農業者への横断的支援体制の構築
独自 戦略 2	美郷町ならではの交流人口拡大策の推進	施策 9	地域資源の新たな活用策の検討
		施策 10	新たな価値を生み出す美郷町まるごとプロデュースの実現

1 美郷町商工会アクションプログラム推進のスローガン

『つながる拡がる、チーム美郷でビジネスチャンス』

全県共通の旗印は「変化に対応し確かなビジョンと実行力で地域と事業者とともに挑み続ける商工会」であり、県内21商工会と県連合会が一体となって取り組んでいくこととしております。

そのうえで美郷町商工会では、第1期プランのスローガンである『つながる拡がる、チーム美郷でビジネスチャンス』の理念を継承し、美郷町を構成するあらゆる機関との多様な連携のもと、アクションプログラムを着実に推進していきます。

2 美郷町商工会の目指す姿

『美郷町産業を総合的にけん引していく商工会』

主要産業である農業を有機的に商工会運営に取り込み、観光資源とも連動させた施策を展開していくことで交流人口の拡大と積極的な外貨の獲得につなげ、地域経済を活性化させていくトータルプロデューサーを目指します。

3 美郷町商工会アクションプログラムの推進に当たっての基本方針

(1) 町内関係機関との連携強化と新たな連携体制の確立

第1期プランにて連携を強化してきた関係機関に加え、新たにJAとの連携体制を構築することで町内産業全体への相乗効果を生み出していきます。

(2) 経営発達支援計画と連動した成果の把握

アクションプログラムに掲げる施策の成果について、具体的かつ明確に示すとともに、経営発達支援計画と連動させた成果として一体的に把握します。

(3) 外部専門家の有効活用による事業の実行

施策の実行にあたっての高度な課題については、外部専門家を有効に活用して確実な成果につなげていきます。

(4) 評価結果を踏まえた事業計画の反映

評価によって導き出された成果や課題については、翌年度事業計画に反映するなどPDCAサイクルを回しながら進捗管理を徹底します。

(5) 環境変化への柔軟な対応

アクションプログラムに盛り込まれている取組については、社会経済情勢の変化への適切性について随時確認して適宜修正を行うなど柔軟に対応していきます。

4 独自戦略の設定理由とその概要

【独自戦略1】主要産業である農業との組織的な連携の推進

美郷町内企業の持続的発展のためには、町主要産業である農業との連携は重要な要素であり、多様な可能性を秘めています。

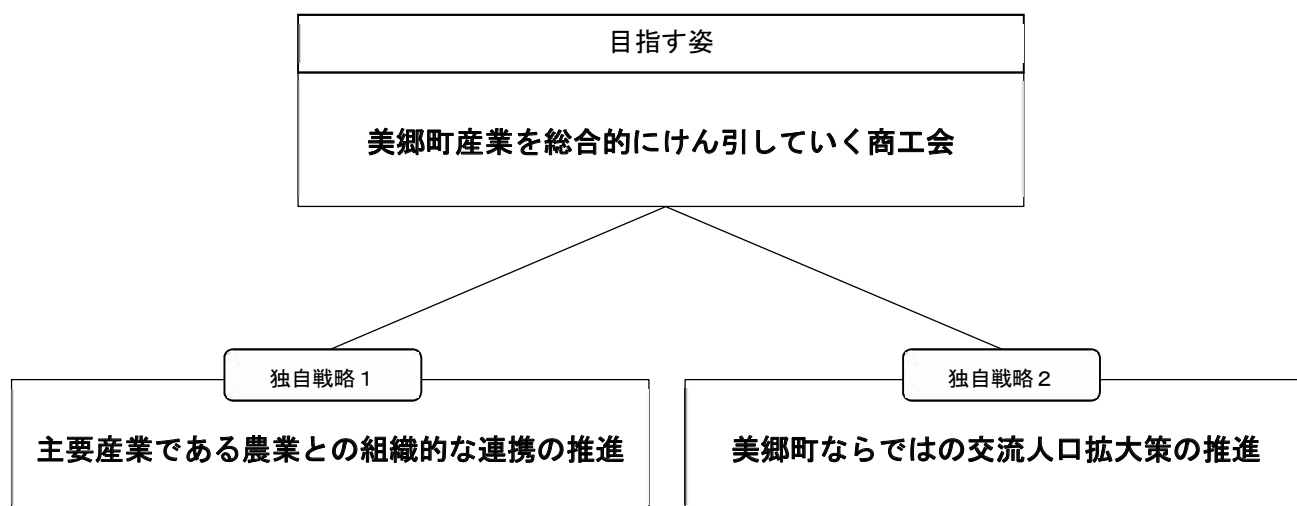
そのため商工会では、事業者と農業者との架け橋となる体制を構築し、積極的な連携を促すことで新たなビジネスの創出をコーディネートしていきます。

また、令和3年10月の事務所移転により、美郷町の産業を担う商工会とJAが同一拠点となったことから、JAとの組織的な連携を強化し、横断的な取組による組織強化につなげていきます。

【独自戦略2】美郷町ならではの交流人口拡大策の推進

美郷町は角館や横手市など県南の観光地を結ぶ交通の要所であり、美郷町が有する歴史、湧水等の地域資源のパッケージ化や、登山観光やタイ王国との交流等行政の施策と連動した新たな経営資源を提案していくことで、地の利を活かした交流人口拡大につなげていきます。

また、美郷町を形成する多様な産業の連携体制を構築し、美郷町まるごとプロデュースによる積極的な外貨獲得につなげていきます。



施策1 中核企業への成長を支える戦略的支援の推進

1 施策展開方向

様々な要因によって引き起こされる経営環境の変化に対し、事業者は自ら意欲をもってその対応に取り組む必要があります。そのため商工会では、日々の巡回を通じて事業者自らの経営意識の向上を促し、自主的な経営計画の策定に取り組むよう提案を続けます。

また、意欲的な事業者の挑戦には、各種施策を活用した積極的な支援を展開し、創業や業種・業態転換など革新的な取組の実現により地域経済を担う中核企業への成長を促します。

2 施策目標

(1) 自社の経営状況分析スキル定着化支援

簡易事業計画書シートを活用し、自主的な経営状況の分析から経営計画策定に至るまでの集中的な支援を実行します。

自主的な経営計画策定企業数 集中的支援による経営計画策定企業数	基準値	目標値(単位:企業)					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	5	5	5	5	5	5	

(2) 革新的な成長を促す事業継続支援

創業や業種・業態転換など事業の持続的発展に向けた革新的な取組に対し、専門家によるアドバイスやフォローアップなども活用しながら継続的な成長を支援します。

革新的な取組による事業継続実現企業数 創業や業種・業態転換の実現から1年以上の事業継続企業数	基準値	目標値(単位:企業)					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	-	5	5	5	5	5	

3 取組内容

(1) 簡易事業計画書シートの活用による自主的な経営計画策定支援

事業者それぞれが自己の有する経営資源・経営課題に適切に対応していくため、自社の経営を見つめ直し、自らが進むべき道を作り上げていけるよう集中的な支援を展開します。

① 簡易事業計画書シートの活用支援

令和2年度より独自で運用している「簡易事業計画書シート」を活用し、事業者の自主的な計画策定をサポートします。

② 専門家派遣等を活用した集中支援の実施

策定した事業計画をより効果的に実現していくため、専門家や支援ツール等を活用した集中的な支援を展開します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
簡易事業計画書シート の活用支援	→→→→→→→→	効果検証 改善策の検討	改善策の実行	→→→→→→→→
集中支援の実施	→→→→→→→→	効果検証 改善策の検討	改善策の実行	→→→→→→→→

(2) 創業者ネットワークによる支援体制の構築

創業者が孤立することなく、相互に新たな付加価値を生み出せるようなネットワークを構築し、事業継続と更なる成長を支える体制を整備します。

① 創業者ネットワークの構築

美郷町で新たに創業した事業者同士が相互につながりを持つことで、自社の経営に新たな付加価値を生み出せるような有機的なネットワークを構築します。

② 定期的な情報交換による事業継続支援の実施

創業者が自由に意見を出し合える場を設定し、それぞれが抱える課題の解決や、連携による新たな付加価値の創出など、事業継続と更なる発展を支援します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
創業者ネットワー クの構築	情報交換会の定期 的な開催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(3) 事業者それぞれの挑戦への徹底サポート

自らの進むべき道への挑戦を続ける事業者に対し、それぞれのニーズに合わせた支援で徹底的にサポートします。

① 経営革新計画等高度な挑戦への取組支援

事業者の革新的な取組による更なる発展を実現させるため、経営革新計画認定等高度な支援にも積極的に取り組みます。

② 地域をけん引する中核企業の育成

意欲ある事業者の革新的な取組等を継続的に支援することで、美郷町の将来を担う中核企業への成長を促します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
高度な取組への支 援実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

施策2 美郷町基盤強化に向けた企業の持続的発展支援の推進

1 施策展開方向

人口減少や少子高齢化など、地域を取り巻く経営環境を縮小させる要因に歯止めがかからない中でも、商工会では企業が地域で存在感を発揮し、経営の維持・向上につながる事業の展開による企業の持続的発展を支援していきます。

また、様々な災害に対するリスクへの意識を向上させ、事業者の備えを促すことでリスクマネジメントの定着化を図ります。

2 施策目標

(1) 地域実態調査による顧客満足度の向上

顧客の動向・要望等を調査し、企業の経営改善を促していくことで顧客満足度を向上させ、企業の持続的発展につなげます。

調査に基づく経営改善への取組企業数 買い物実態調査に基づく顧客満足度向上への取組企業数	基準値	目標値(単位:企業)					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	3	3	3	3	3	3	

(2) 事業承継の確実な実行支援

県連合会の「事業承継実現化ガイドライン」等も活用し、部門承継も含めた事業承継の確実な実行を支援することで、地域商工業者数を維持するとともに経営の持続的発展を支援します。

事業承継実現化企業数 部門承継も含めた事業承継の実行企業数	基準値	目標値(単位:企業)					
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	3	3	3	3	3	3	

3 取組内容

(1) 買い物実態調査等の実施による地域経済動向の把握

事業者が感じている地域経済状況や課題と、顧客が地域に望むサービスとの比較を通じ、そのギャップを埋めることで顧客満足度の向上を図ります。

① 買い物実態調査の実施

業種ごとの来店者調査を実施することで需要と供給のギャップを埋め、顧客満足度の向上から企業の持続的発展につなげます。

② 地域経済動向調査の実施

地域内全企業に対して調査を実施し、企業目線での景況感や課題を把握することで、商工会による個社支援をより効果的に実行します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
買い物実態調査の実施	→→→→→→→→	効果検証 改善策の検討	改善策の実行	→→→→→→→→
地域経済動向調査の実施	→→→→→→→→	効果検証 改善策の検討	改善策の実行	→→→→→→→→

(2) 高齢経営者等実態調査の実施による新たな承継の発掘

高齢経営者の具体的な経営意欲の確認を通じ、承継可能性のある事業を発掘するとともに、必要に応じた終活支援を実施します。

① 高齢経営者実態調査の実施

事業承継の予定を持たない高齢経営者に対し、今後の方向性を確認することで部門承継の掘り起こしや必要な終活支援の実行につなげます。

② 部門承継も含めたマッチング可能性の検討

高齢経営者の引退により地域から失われていく事業を一つでも多く取り残すため、部門承継の可能性を検討します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
高齢経営者実態調査の実施	→→→→→→→→	効果検証 改善策の検討	改善策の実行	→→→→→→→→
	部門承継の可能性 検討	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(3) 事業承継計画の確実な実行支援

事業承継計画の進捗度に応じたブラッシュアップを随時提案していくとともに、様々な施策を活用し、確実な実行に向けた支援を実施します。

① 実現性の高い事業承継計画策定支援

円滑な事業承継には相応な準備期間を要することの周知を徹底し、十分なスケジュールリングによる計画策定を支援します。

② 専門家等も活用した事業承継の確実な実行支援

県連合会の「事業承継実現化ガイドライン」に基づき、専門家派遣等も活用しながら事業承継の確実な実行を支援します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
事業承継計画策定支援の実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
事業承継計画実行支援の実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(4) 企業におけるリスクマネジメント力の強化支援

事業者のリスクマネジメントへの意識向上を促し、BCP策定を支援することで地域経済の継続力強化を図ります。

① 事業者向けBCP策定セミナーの開催

セミナーによる普及啓発活動により、BCPは小規模事業者にとっても重要な備えであることの認識を高め、策定意欲の向上につなげます。

② 事業者BCP策定支援

事業者の規模に応じたBCP策定を支援し、地域内企業にリスクマネジメントへの意識を定着させます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
BCP策定セミナーの開催				
BCP策定支援の実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

施策3 事業者間連携「美郷モデル」による新たな取組の創出

1 施策展開方向

変化を続ける経済環境への対応や縮小する地域経済の維持発展のためには、限られた資源の有効活用と相乗効果による新たな可能性や付加価値を生み出す事業者間連携が期待されています。そのため商工会では、事業者同士をつなぎあわせる環境を整備し、事業者が有する経営資源のマッチングにより課題解決につながる連携を促進することで、地域内に新たな可能性を創出します。

2 施策目標

(1) 事業者間連携による新たな事業の創出

事業者が有する経営資源を持ち寄り、地域インフラの維持等美郷町の持続的発展につながる連携事業の創出を支援します。

美郷町の持続的発展につながる連携事業への参画企業数 連携事業への参画企業数	基準値	目標値(単位:企業)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	—	0	2	4	6	8

(2) 地域内労働力の有効活用策の検討

季節的に変動する地域内労働需要に対し、業種を問わず労働力をシェアすることで地域外への人材流出を防ぎ、労働者の就労満足度向上にもつながる取組を検討します。

労働力シェアへの取組企業数 季節的雇用等の労働力シェア実現への取組企業数	基準値	目標値(単位:企業)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	—	0	2	4	6	8

3 取組内容

(1) 経営資源の補完を求める事業者間マッチング支援

事業者同士が連携しやすい環境を整備し、経営資源と課題とのマッチングによる事業者間連携を促進することで、地域内に新たな事業を創出します。

① 異業種交流会の開催

事業者同士が情報交換できる場を提供し、自発的な連携へと発展していく機会を創出します。

② マッチング需要のリスト化

地域内のマッチング需要を調査・リスト化することで、具体的な取組の検討につなげます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
異業種交流会の開催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
マッチング需要の調査	→→→→→→→→	マッチング需要のリスト化	取組の検討	→→→→→→→→

(2) 季節的労働力の事業者間マッチング支援

少子高齢化等により減少する地域内労働力を有効に活用するため、事業者間で労働力をシェアする仕組みを検討し、労働力の確保と労働者の就労満足度向上につなげます。

① 季節的労働力の分散状況調査

労働保険事務組合業務や部会事業を通じて、業種ごとの季節的労働力が地域内にどの程度分散しているかを調査します。

② マッチング需要のリスト化

月単位での労働力の余剰と不足をリスト化し、補完を求める事業所需要とのマッチングにつなげます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
季節的労働力の分散状況調査	→→→→→→→→	マッチング需要のリスト化	テストマッチングの開始	→→→→→→→→

施策4 地域課題解決に向けた地域内連携の強化

1 施策展開方向

少子高齢化による人口減少は、地域経済のみならず地域全体の課題となっています。そのため、地域内産学官連携による若者定住事業を促進するとともに、経営発達支援計画の着実な実行により事業者の持続的発展を支援し、地域内人口の流出防止につなげます。

また、町内企業の定期的な情報発信や交流人口を生み出す施策の提言等により来町者を増加させ、移住による人口増加にもつなげます。

2 施策目標

(1) 地域内産学官連携による将来的な地域労働力の確保

美郷町及び六郷高校との連携事業を展開し、地域企業の魅力を将来の労働力である六郷高校生に体験させ、地域企業への就職を促進します。

高卒者の地域企業採用希望者数	基準値	目標値(単位:人)				
地域内企業への就職を希望する新規高卒者数	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	—	5	6	7	8	10

(2) 町と連携した経営発達支援の強化

美郷町との協働事業である経営発達支援計画の実行を通じ、それぞれが役割を確実に実行することで地域課題の解決につなげます。

経営発達支援事業者数	基準値	目標値(単位:件)				
経営発達支援計画に基づく取組により課題解決を支援した事業者数	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	7	8	9	10	10	10

3 取組内容

(1) 地域内産学官連携事業の実施

商工会・町・高校との有機的な連携により高校生と地域企業との交流の場を創出し、高校生に「地元で働く」ことの意識付けを通じて将来の労働力確保につなげます。

① 「MISATOでWORKING住まいる」事業の実施

町内企業で働く若手社員と高校生が意見交換する場を創出し、「地元で働く」ということへの興味を促すとともに、町内企業のイメージアップにつなげます。

② 六郷高校の就職支援事業への実施協力

町内企業に対し、模擬面談やインターンなど高校生の就職関連事業への積極的な協力を促し、町内企業の認識向上とイメージアップにつなげます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
「MISATOで WORKING住 まいる」の実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
就職支援事業への 実施協力	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 町との連携による経営発達支援計画の定期的な評価・見直し

経営発達支援計画を着実に実行するとともに、その進捗度に応じた適切な見直しを行います。また、行政との活発な意見交換を通じ、地域に活力を生み出す施策を提言します。

① 事業評価委員会の開催

経営発達支援計画に基づく取組が、美郷町の持続的発展に寄与するものであることを検証する評価委員会を開催し、適宜改善を図っていきます。

② 行政との意見交換会の開催

巡回や個社支援を通じて吸い上げた事業者の声をもとに、よりよい美郷町づくりへの提言を行う行政との意見交換会を定期的に行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
事業評価委員会の 開催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
行政との意見交換 会の開催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

施策5 多様化・高度化する経営課題への支援機能強化**1 施策展開方向**

企業を取り巻く環境は様々な要因により日々変化を続けており、事業者は多様化・高度化する経営課題への対応を求められています。このような中、商工会では職員に対し専門性の高いスキルの習得を促進するとともに、職員個々の能力を最大限に引き出すマネジメント力の強化に取り組み、企業が求める支援に的確に対応できる体制を整えます。

2 施策目標**(1) 専門的な支援スキルの習得促進**

職員の成長プランに基づく取組を促進し、外部研修への積極的な派遣を通じて中小企業診断士等の公的資格取得を奨励します。

職員の公的資格取得数 中小企業診断士や財務戦略アドバイザーなど支援に有効な専門資格の取得数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	1	1	1	1	1	1

(2) 効率的なチーム支援の実現に向けたマネジメント力の強化

企業が求める支援に必要なスキルを見極め、効率的なチーム支援を実施する経営指導員のマネジメント力を強化します。

チーム支援による課題解決数 職員それぞれのスキルを効率的に活用したチーム支援による課題解決数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	5	5	5	5	5	5

3 取組内容**(1) 多様化・高度化する経営課題への支援スキル向上**

環境変化に合わせたタイムリーなテーマを都度設定し、テーマに基づく専門的な研修を集中的に実施することで効果的かつ効率的なスキルの習得に努めます。

① 職員を講師とするOJT研修の実施

職員を講師として日常業務をテーマとする研修を定期的に行うことで、職員の自発的な学ぶ意識を醸成し、より効果的なスキルアップにつなげます。

② 専門家による専門性の高い職員向け研修の実施

経済環境の変化に合わせたテーマを設定し、その分野に特化した専門家による研修を実施することで、専門性の高い職員の育成を図ります。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
O J T研修の実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
専門研修の実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 効果的な外部研修への積極的な派遣

より高度な知識を習得するため、中小企業大学校等の専門機関へ積極的に職員を派遣し、それぞれの得意分野を伸ばすことで企業支援のプロ集団を目指します。

① 県連合会との連携による中小企業大学校への派遣

県連合会の職員育成計画とも連携し、より専門性の高い職員の育成に向けた派遣を積極的に行います。

② 公的資格取得に向けた外部研修への派遣

職員個々の成長プランに基づいた公的資格取得を後押しするため、外部研修への派遣を積極的に行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
外部研修への積極的な派遣	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(3) 職員相互のスキル補完によるチーム支援意識の醸成

チーム支援を効果的にマネジメントできる支援リーダーを育成し、多様化する経営課題への効率的な対応を実現させます。

① 職員個々の保有スキルの共有

職員個々の得意分野を明確に分類して相互に共有することで、チーム支援に取り組みやすい環境を整備するとともに、不得意分野への教育意識を共有します。

② 支援リーダーの育成

企業が求める支援に必要なスキルを見極め、効率的なチーム支援をけん引できる経営指導員の育成を図ります。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
チーム支援の推進	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

施策6 商工会運営力向上による組織強化

1 施策展開方向

商工会は地域唯一の経済団体であり、事業者のための支援機関であるという存在意義を改めて認識し、役職員一体となった組織強化への取組を強力に推進します。

また、企業の課題解決につながった支援事例等を様々な手段で発信し、「事業者にとって頼りになる存在」であることを積極的にPRしていきます。

2 施策目標

(1) 組織活動の機能強化

商工会の運営を担う役員の意識向上を図り、一人ひとりが意欲をもって商工会活動に参加していくよう機能強化を図ります。

役員会の出席率	基準値	目標値(単位: %)				
	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
会員企業の代表である役員の商工会事業参画率	73	75	80	85	90	90

(2) 事業者が主体となった商工会活動の推進

総代は事業者の代表として商工会活動の意思決定を行っていくことの認識を高め、事業者目線での商工会活動を推進します。

総代会の出席率	基準値	目標値(単位: %)				
	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
会員企業の代表である総代の実出席率	34	35	40	45	50	55

3 取組内容

(1) 支援事例等タイムリーな情報発信体制の整備

会員企業への支援事例や、企業にとって有益な情報をよりタイムリーに発信する体制を整備し、商工会の活用度向上を図ります。

① 「みさと〜く」の定期的な発信による支援事例のPR

支援者と事業者との生の声を発信し、商工会は身近な存在であることの認識を高め、商工会の利用率向上につなげます。

② SNSを活用したタイムリーな情報発信

必要な情報をタイムリーに発信することが可能なSNS等のツールを積極的に活用し、事業者にとって役立つ商工会を目指します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
支援事例の定期的な発信	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
タイムリーな情報発信	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 役員及び役員会の機能強化による組織運営力の向上

役員は会員の代表として商工会を運営するという自覚を促し、会員加入強化や自家共済の推進を通じた組織強化への参画を徹底します。

① 県連合会「役員会運営強化ガイドライン」に基づく組織運営力強化

商工会の組織運営力強化につながる役員会のあり方を示した「役員会運営強化ガイドライン」に基づく取組を実践していきます。

② 役職員一体となった自家共済の推進による財政基盤の強化

商工貯蓄共済のメリットを役職員で改めて確認し、目標設定の共有による一体的な推進を実施します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
			役員会運営強化ガイドラインに基づく取組の開始	
推進目標の共有	→→→→→→→→	自家共済推進ガイドラインに基づく取組の開始	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(3) 実効性のある部会活動の強化

それぞれの業種に実効性のある活動を促進するとともに、各部会の事業について意見交換を通じてブラッシュアップを図れる機能を追加します。

① 部会長会議の開催

それぞれの部会活動について相互に意見を求めあうことで新たな改善につなげるとともに、相乗効果による活動の向上を図ります。

② 県連合会「部会活動強化ガイドライン」に基づく活動強化

実効性のある部会活動につながる「部会活動強化ガイドライン」に基づく取組を展開し、部会活動の充実を図ります。

【取組実工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
部会長会議の開催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
	部会活動強化ガイドラインに基づく取組の開始			

施策7 農業者の事業化・商業化に向けた支援の推進

1 施策展開方向

美郷町内企業の持続的発展のためには、主要産業である農業者との連携は重要な可能性を秘めています。そのため商工会では、会員企業と農業者との架け橋となる体制を構築し、積極的な連携を促すことで新たなビジネスの創出をコーディネートします。

また、農業者にも経営に関する知識の習得を促すことで自立した経営者への成長を支援し、組織横断的な構成員へと発展させ組織強化につなげます。

2 施策目標

(1) 6次産業化等による農業者の企業化促進

生産品の自主加工販売や新たな販路拡大への支援を通じて農業者の企業化を促進し、美郷町の主要産業との共存共栄を図ります。

6次産業化等による農業者の企業化数 系統出荷以外の販路拡大等企業としての活動を開始した農業者数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	0	1	1	2	2

(2) 農業者との連携による新たなビジネスの創出

農業者と会員企業が互いに有する経営資源とノウハウのマッチングを図り、新たなビジネスを創出することで地域活性化につなげます。

農業者との連携事業数 農商工連携により創出された事業数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	0	0	1	0	1

3 取組内容

(1) 農業者を対象とした各種セミナーの開催

農業者に対して経営者としての意識付けにつながる各種セミナーを開催し、企業化への基盤確立につなげます。

① 経営計画セミナーの開催

P D C Aサイクルなどの経営計画策定に必要な基礎的知識に関するセミナーを開催し、農業者の経営者意識向上につなげます。

② 農業簿記講座の開催

農業経営においても簿記の知識は必須であることから、農業簿記の講座を開催し、計数管理の意識付けを行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
	経営計画セミナー の開催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
農業簿記講座の開 催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 農商工連携による新商品開発等の促進

美郷町の主要産業である農業生産品と会員企業の経営資源やノウハウを融合させ、美郷町ならではの新商品開発に向けたマッチング支援を行います。

① 対象となる農業者の掘り起こし

J Aとの連携によりマッチング可能な農業生産品をピックアップするとともに、連携に意欲的な農業者の掘り起こしを行います。

② 会員企業とのマッチング支援

連携に意欲的な農業者と経営資源やノウハウの新たな活用を模索する会員企業とのマッチングを図り、新商品開発への足掛かりを支援します。

③ 各種商談会等への出展支援

首都圏を中心とした商談会等への出展を支援することで、新商品や生産品等の地域外への販路拡大を図ります。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
意欲ある農業者の 掘り起こし	→→→→→→→→	会員企業とのマッ チング支援	→→→→→→→→	商談会等への出展 支援

施策8 JAとの連携による農業者への横断的支援体制の構築

1 施策展開方向

令和3年度の事務所移転によりJAと同一拠点となったことから、組織的な連携体制を構築し、美郷町の主要産業である農業を商工会運営に有機的に取り込みます。

また、相互を取り巻く関連施策を共有し、組織横断的な活用を支援することで美郷町基盤産業の更なる強化につなげます。

2 施策目標

(1) 組合員の商工会活用策の提案

持続化補助金等事業者にとって有効な施策について、組合員が活用するための方策を検討し、組合員の事業拡大を支援します。

組合員の商工会事業活用数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
組合員による商工会事業の活用数	-	0	1	1	2	2

(2) 農商工交流事業の推進

会員企業と組合員の交流の機会を創出し、相互の強みを活用した共同事業の実施を通じて地域経済活性化を図ります。

JAとの共同事業数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
相互の構成員が参画する共同事業の実施数	-	0	0	1	1	1

3 取組内容

(1) 相互を取り巻く関係施策の共有

商工会とJAとが相互に有する施策情報を共有することで、互いの構成員に対する支援策の拡充につなげます。

① 組合員への商工会施策の情報発信

JAの広報部門との連携により、組合員へ商工会関連施策の情報を発信することで、施策の活用を通じた企業化を促進します。

② 会員企業への農業関連施策の情報提供

美郷町の会員企業には兼業農家も多く、農業関連施策の情報提供により事業運営への有効活用の検討を促し、支援の幅を広めます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
J A広報部との連携体制の構築	関連情報の共有化	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 農商工交流事業の検討

美郷町の産業を担う2つの組織が有機的に連携することで互いの構成員の積極的な交流を促し、地域経済活性化への相乗効果を図ります。

① 会員企業と組合員との懇談会の開催

これまで、異なる分野で美郷町を支えてきた2つの組織の構成員が、互いの視点で意見を交換する場を設けることで、美郷町の新たな可能性の検討につなげます。

② 地域内事業への共同参画

それぞれの分野で活躍してきた地域内事業についても、共同参画することで相乗効果を図り、地域に新たな活性化をもたらします。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
農商工懇談会の開催	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
地域内事業への共同参画の検討	→→→→→→→→	→→→→→→→→	共同参画の開始	

施策9 地域資源の新たな活用策の検討

1 施策展開方向

美郷町は角館や横手市など県南の観光地を結ぶ交通の要所であるという地の利を活かし、気軽に立ち寄れる体験型観光プランなど、地域資源の効果的かつ効率的な活用を提案して交流人口の拡大につなげます。

また、登山観光やタイ王国との交流など、行政の施策と連動した新たな経営資源の可能性を研究し、地域に新たなビジネスを提案します。

2 施策目標

(1) 地域資源のパッケージ化

湧水等既存の地域資源について、その特性を活かしたパッケージ化により新たな観光資源として提案することで、交流人口拡大への相乗効果を図ります。

既存資源パッケージ商品の提案数 既存地域資源のパッケージ化による新たな提案 実現数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	0	1	1	2	2

(2) 新たな経営資源の提案

登山観光や農園ビジネス、タイ王国との交流など行政の施策と連動した新たなビジネスを生み出す経営資源を提案し、新たな交流人口獲得を目指します。

新たな経営資源の提案数 新たな交流人口を生み出す経営資源の提案数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	0	1	1	1	1

3 取組内容

(1) 既存資源の新たな活用策の検討

既存資源を効果的かつ効率的に活用し、相乗効果を高めて交流人口の拡大につなげていくという新たな取組へチャレンジします。

① 既存資源パッケージ化の検討

湧水や寺町、ラベンダー園、美郷まんまなど既知の地域資源を有機的に組み合わせて新たな価値を創出するパッケージ化について検討を進めます。

② 体験型観光プランの提案

角館や横手市など県南の観光地を結ぶ交通の要所であるという地の利を活かし、気軽に立ち寄れる体験型観光プランを提案して交流人口の拡大につなげます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
既存資源のリスト化	パッケージ化の検討及び提案	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
通過型観光プランの検討	プランの提案及びPRの実施	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 行政の施策と連動した新たな経営資源の提案

登山観光やタイ王国との交流など、行政の施策と連動した新たな経営資源の可能性を研究し、地域に新たなビジネスを提案します。

① 登山観光ビジネス化への提案

町が進めている真昼岳周辺のトレッキング観光事業を新たなビジネスチャンスと捉え、誘致企業「モンベル」との連携も含めた新たな観光ビジネスを検討します。

② タイ王国との交流を活かした新たなビジネスの検討

町がホストタウンとして登録しているタイ王国との交流に積極的に参画し、タイ王国の文化等を発信する新たなビジネスの提案につなげます。

③ 農園ビジネスの可能性研究

美郷町内の大規模農園と連携し、摘み取り体験や就農体験など、体験型の農園ビジネスの可能性を研究し、新たな交流人口の拡大へつなげます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
行政及び関係機関との連携体制の構築	新たな経営資源の提案	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

施策10 新たな価値を生み出す美郷町まるごとプロデュースの実現

1 施策展開方向

美郷町には多種多様な産業から生み出されている製品があり、それらを効果的かつ効率的に売り出していくためには、全産業が一体となって取り組む体制が必要です。そこで商工会がプロデューサーとなり、域外への販路拡大や周知活動を行うことで積極的な外貨獲得に向けた支援体制を構築するとともに、産業を超えた連携により、地域に新たな価値を生み出す事業の創出につなげます。

2 施策目標

(1) 産業を超えた連携事業の創出

商工業と農業、観光業など美郷町を形成する多様な産業の連携体制を構築し、地域に新たな価値を生み出す事業を創出します。

連携事業の創出数	基準値	目標値（単位：件）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
地域に新たな価値を生み出す連携事業数	－	0	0	1	1	1

(2) 革新的な販路拡大事業の実施

多種多様な美郷町産品を集約し、商工会がプロデューサーとなって域外へ売り出していく販路拡大事業を実施し、積極的な外貨獲得につなげます。

革新的な販路拡大事業の実施数	基準値	目標値（単位：件）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
商工会プロデュースによる販路拡大実現数	－	0	0	1	1	1

3 取組内容

(1) 産業を超えた連携体制の構築

商工業と農業、観光業など美郷町を形成する多様な産業が連携し、地域に新たな価値を生み出す事業を検討する体制を構築します。

① 情報交換会の開催

美郷町を形成する多様な産業団体が定期的に情報交換する場を創出し、一体となった地域経済活性化策の検討につなげます。

② 連携可能事業の検討

情報交換の中から連携の実現可能性が高い事業をリストアップし、より効果的な連携に向けた検討を行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
産業を超えた情報 交換会の開催	連携事業の可能性 研究	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 美郷町まるごとプロデュースの実施

商工会がプロデューサーとなり、多種多様な美郷町産品を広く域外へ売り出していく販路拡大や観光資源のPRなどを実施する体制を構築し、積極的な外貨獲得を支援します。

① 美郷町まるごとネットワークの構築

美郷町まるごとプロデュースの実行機関として、商工会を中心に他産業が参画する連携組織を構築します。

② 美郷町産品の販路拡大パッケージ支援体制の確立

多種多様な美郷町産品を集約し、商工会がプロデューサーとなって域外へ売り出していく支援体制を確立して積極的な外貨獲得につなげます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
美郷町まるごとネ ットワークの構築	→→→→→→→→	美郷町産品の販路 拡大パッケージ事 業の開始	→→→→→→→→	→→→→→→→→